

京 図 ものがたり

きょうと

京都市図書館情報誌

2010
国民読書年

関西から



2010年は国民読書年です



特集

vol.23

平成22年7月発行

OPEN YOUR BOOK AT PAGE 4, 5 PLEASE



寝台特急・日本海

鉄道の旅に出よう

図書館駅・発／本の駅・行き

あなたの好奇心に答える

目次

2 3 寄稿 「百人一首講話（その二）」

京都百人一首・かるた研究会代表

京都アスニー百人一首・かるた講座専任講師 河田 久章

4 5 特集 鉄道の旅に出よう

6 図書館の特色紹介 岩倉図書館

7 図書館小特集 富安陽子さん講演会の報告

7 お知らせ 図書館には雑誌もあります

8 利用者の声 夏休みと図書館

8 編集後記 図書館を旅のおともに

百人一首講話 (その二)

河田 久章

京都百人一首・かるた研究会代表
京師アスニー百人一首かるた講座主任講師

―百人一首に選ばれている八人の天皇

現在、親しまれている百人一首には、八人の天皇の和歌が選ばれています。天智天皇、持統天皇、陽成院、光孝天皇、三条院、崇徳院、後鳥羽院、順徳院である。天皇の号は、概ね、天皇の場合在位中、院は上皇になってからのものと考えられるが、実際は、第六三代冷泉から江戸時代の第一八代後桃園まで天皇と呼ばず、院と称号されており、大正天皇時代より、総て呼び方が天皇に統一されている由。

百人一首は選者とされる藤原定家が、百人一首の原型とも考えられる「百人秀歌」という選集をまとめるに際し、その奥付に「名譽の人、秀逸の詠を洩らしている。あるがままに選んでいるので非難しないで欲しい」と記しているように、定家の好みと、独断、偏見によるところが多分にあると考えられています。その百人一首が、今日迄々と、親しみ、伝えられて来たのは、選者の定家が、平安中期から続く歌道家の継承者で、勅撰集の撰者でもあり、歌論や古典の写本に多くの業績を残し、歌界の重鎮となつて、後世に偉大な影響を及ぼして来た人に他ならず、その人の選したものであればこそ、第一と考えられて来たからであります。その定家が何を以て、数人の天皇の和歌を

百人一首に選んだのか。

平安後期の歴史物語「大鏡」の序に「かたじけなく、さぶらへども」と言葉に出すことさえも畏れ多い天皇の御名を申し上げるのはもったいないことではございますが、の書き出しの通り、それ程、この時代における天皇への畏敬の念は計り知れないものがあつたと思われます。

定家にしても、勿論そうであつたと考えますが、百人一首を選するに當つて、多少その思いに、変化が感じられるのです。天皇の来歴では、光孝天皇を除く他の天皇は、皇位の復権と継承の争い、廢位に關した当事者となつて居るのです。光孝天皇も、時の太政大臣、藤原基経によつて廢位を強要された基経の甥の陽成天皇のあくまでもピンチヒッターで母方の従兄弟でもあつた基経（母乙春は光孝天皇母沢子の妹）のたつての願いで、なんと五四才という当時としては高齢で即位、謂わば基経の傀儡となつて三年後には在位のまま崩御するという皇位継承の犠牲者とも考えられるのです。

十代勅撰集に撰されている三十一人の天皇のうち、特に皇位の復権、継承の争いや廢位に關つた天皇は、平城天皇と花山院が考えられるが、平城天皇は病弱で退位、平城京に隱棲し、その後「薬子の變」に加担したとされるが、嵯峨天皇の基盤が強固であつたため、特に継承の問題はなかつたとされる。又花山院は、藤原兼家や道兼の策略とは云うものの自ずと出家し、皇位を放棄したと云わざるを得ない行状でもあつたと伝えられ、定家があえて選した百人一首の六人の天皇こそ、復権、継承の争い、廢位に關した天皇たちであつたのである。

定家の百人一首に天皇を選するに當り、その気持ちを推測するに、一つには、定家に自分の所有する山莊の襖に飾る、



天智天皇の関与した皇位の復権とは、

藤原鎌足と相圖つて、専横を極めた蘇我入鹿を暗殺、その父蝦夷を自殺に追い込み、天皇による親政を奪取した「乙巳の變」(六四五年)で以後大化改新を進めるわけですが、継承については、兄古人大兄皇子を變に關した、謀反のことで、無き者にし、次いで叔父孝徳天皇の有間皇子が後継者と目されるや、これ又、謀反の疑いで討している。よく云われている百人一首の秋の田の歌は、農民の苦勞を思いやる天智天皇のやさしい心とも解釈されているが、定家の心は、読み人知らずのこの歌が、たまたま自分の好みの歌でもあり、天智天皇の御製として、勅撰集「後撰集」にも撰されていることから、平安時代の祖である桓武天皇にも繋がる天皇として、百人一首の冒頭にもつて来たのでなからうか。

次に持統天皇。天智天皇の皇女であると共に、皇位継承の争い「壬申の乱」の主人公天武天皇の皇后であつた。乱の勝利で、弟弘文天皇を縊死に追いやつた当事者でもある。天武天皇崩御で皇位につき、実の子草壁皇子の皇太子擁立のため、腹違いの子、大津皇子を謀反の疑いで処刑するに及んでいる。定家は争いの主、天武天皇の歌を選すべきであつたらうが、勅撰和歌集に撰されておらず、他に好みの歌もなく、故に持統天皇の万葉集にある歌を新古今集に撰び、百人一首に選したのではなからうか。

百人一首の原型とも云える和歌の色紙を所望した宇都宮頼綱の境遇に少なからず同情、なにか天皇家とダブらせるものがあつたのではなからうか。定家の和歌の弟子でもあり、嫡男為家の岳父ともなつていた頼綱は、鎌倉武士であり、北条時政の家臣でもあつた。更に時政と後妻牧の方との娘を室にしている。牧の方は、先妻の政子や義時と対立、遂には、時政をそそのかし「平賀朝雅の變」という幕府転覆の謀を身地京都で起こさせ、結局失敗。時政が出家、隱遁させられた張本人となつた。女婿である頼綱も謀反のことで、呪まれ、嫌気がさして出家するに及んでいること、御家騒動の無念や、むなしさを感じていたのでなからうか。

二つ目には、定家が十八才より書き綴つた日記「明月記」に記述した「紅旗征戎、吾事二非ズ」という信条とも云うべき、権力、權威に対する反発、平安時代の終焉を見届けた定家には、紅旗とは、権力の平家の赤旗、權威の天皇の赤旗を意味していたのではなからうか。又、父俊成の百人一首にも選している世の中よ、道こそなけれ思ひ入る、山の奥にも、鹿ぞなくなるの歌は政道が正しく行われていないことに對する批判ともとられ物議をかもしたとされ、定家の心情にも少なからず影響を及ぼしていたのではなからうか。

三つ目には、定家を登用、互に相睦じかつた後鳥羽院に「野外の柳」という和歌で、一二二〇年、宮職は解かれ



陽成院は、「今昔物語」や「大鏡」「古事談」等にある如く、物狂いの天皇と、その行状が非とされ母方の伯父である時の摂政藤原基経によつて廢位させられたのである。

光孝天皇は前述の通り。三条院は、摂政藤原道長の姉超子と冷泉院の皇子で道長の次女妍子を皇后としたが、外戚(母方の親族)となつて摂政関白になりうる条件を持ち、権力を行使できる地位」となるべく皇子が生まれず、道長は院の眼病を理由に廢位をせまり、外戚となつた長女彰子と一条院の皇子後一条院を即位させ、道長摂政の全盛をきわめることになる。

ぬものの、公の場所への出入り禁止の勅令を受け、いわば、確執のまま、翌年の「承久の乱」を迎えているのである。この頃の「明月記」には起してはならないとされる、院に對する疑義や憤懣が、ところどころに見えはじめ、ひいては、天皇の皇位の復権、継承の争い、廢位が百人一首選に影響を及ぼしていたとも思われるのである。

定家が選んではないと思われる百人一首の後鳥羽院と順徳院の和歌は、為家の撰になる「続後撰集」にある。撰の御下命は後嵯峨上皇である。上皇は、終始鎌倉との友好的態度を崩さなかつたと云われ、為家は、その集に、あえて後鳥羽院と順徳院の歌を撰し、更に百人一首にも選して、父、定家の百人一首選への思いを完成させたのではなからうか。単純に天智天皇、持統天皇で始まり、後鳥羽、順徳院で終らせた百人一首ではないのである。

アスニーアトリエ

百人一首講話と「かるた」競技の実技指導
9/11、18 全八回
講師 河田 久章
詳しくは京都アスニー発行のまなびず等を
ご覧下さい。
お問い合わせ
京都市生涯学習総合センター(京師アスニー)
TEL075-812-7222

崇徳院は、鳥羽院の後をうけ、白河上皇の命により、四才で即位したが、白河法皇崩御後、今度は鳥羽院によつて近衛院に讓位させられる。しかし近衛院は病弱で、十七才で夭折。その跡目争いで、弟後白河院に敗れ、一一五六年、鳥羽院の崩御後、復権、継承をめざして「保元の乱」を起すが、失敗。讃岐に流され、当地で非業の最期をとげる。

後鳥羽院、順徳院は鎌倉幕府打倒の「承久の乱」で、北条義時を中心とする幕府軍に鎮圧され、後鳥羽院は隱岐へ、順徳院は佐渡へ配流となり、天皇家は失墜するのである。

百人一首選の前提として考えられる、天皇、上皇、法皇の下令による平安時代以降の勅撰和歌集十代集には、大和飛鳥、奈良時代の仁徳、天智、持統、元明、聖武の各天皇を含め、第八十四代の順徳院までの中から、三十一人の天皇の歌が撰されているが、百人一首棹尾の後鳥羽院と順徳院の歌は、百人一首成立十六年後・定家没の十年後の一二五一年、定家の息為家の撰になる十番目の勅撰集「続後撰集」にあり、このことから、結局、定家は百人一首に両院

鉄道の旅に出よう

～いい日旅立ち～

鉄道の魅力あふれる一冊を、京都市図書館で見つけてみませんか。

出発進行！

◆京都市図書館にある鉄道関連の図書・雑誌、CD・DVDなどの利用方法については、最寄りの京都市図書館までお気軽におたずねください。

駅をめぐる

電車を降りて、どんな駅にたどり着くのか。鉄道の楽しみの一つです。



●素敵な風景に出会う

- *『にっぽん木造駅舎の旅 100選』萩原義弘 写真・文
- *『驛の記憶』真島満秀 写真 こんな景色、見たことありませんか。
- *『新幹線の車窓から 東海道新幹線編』栗原景 著



●駅を支えるひとびと

- *『図説鉄道のプロフェッショナル「鉄道の匠」たちの知られざる技・仕事・道具』学研
- *『ダイヤに輝く鉄おとめ』矢野直美 著

●食べたい！駅弁

- *『全国から厳選！極上の駅弁ベストガイド』カルチャーランド 著
- *『全国美味駅弁 決定版 駅弁女王が食べて選んだ 555』小林しのぶ 著

でんしゃ、だいすき！

電車のお話は、大人も子どもも大好きです。



- *『がたごとがたごと』内田麟太郎 文
- *『でんしゃのたび パノラマえほん』間瀬なおかた 作・絵
- *『お客さまはひいおばあちゃん』石神悦子 作
- *『新幹線と車両基地』モリナガヨウ 作
- *『電車大集合！スーパー大百科』レイルマンフォトオフィス 監修・撮影
- *『きみも鉄道（レール）マスターをめざせ！車両クイズ 120』坂正博 著
- *『駅で働く人たち しごとの現場としくみがわかる！』浅野恵子 著

鉄道の旅を満喫する！

鉄道での旅に限らず、旅の計画を立てるのは楽しいもの。こんなガイドブックはいかが？



- *『おとなの青春 18 きつぷの旅さらに得する達人プラン』おとなの青春 18 きつぷの旅編集部 編
- *『ローカル線をゆく 乗っておきたい珠玉の鉄道 50 線』藤田彰・黒阪幸伸 写真
- *『車窓で旅する日本列島 西日本編』（東日本編もあり）猪井貴志 著
- *『鉄道古地図旅行案内 ノスタルジックで楽しい！昭和初期の鉄道地図帳 西日本版』（東日本版もあり）学研
- *『嵐電ぶらり各駅めぐり（らくたび文庫）』コトコト

●時刻表を活用して、旅をもっと楽しく

- *『時刻表を読みこなす』牛山隆信 著

●電車を降りて、お城見学するなら…

- *『厳選日本名城探訪ガイド』学研

●電子マネーの仕組みを知って、日常生活もますます便利に

- *『電子マネーのすべてがわかる本 Suica PASMO Edy ICOCA PiTaPa』竹内一正 著

今年は、
四条大宮一嵐山間
開通 100 周年です



鉄道歴史探訪～鉄道の歴史を知る～

明治以降、急速に発展した「鉄道」の歴史を、ひとといてみましょう。

- *『時刻表1000号物語 表紙で見る「時刻表」のあゆみと鉄道史』交通情報部編
- 雑誌『JTB時刻表』のバックナンバーは、図書館で借りることができます（最新号は予約のみできます）
- *『関西の鉄道史 蒸気車から電車まで』作問芳郎 著
- *『京都の電車 市電・嵐電・叡電・京津電車』高橋裕編 著
- *『図説鉄道会社の歴史』松平乗昌編
- *『食堂車の明治・大正・昭和』かわぐちつとむ 著

●今年の夏休みには、博物館へ行ってみよう！

- *『全国鉄道博物館』白川淳 著

電車いろいろ

さて、どの電車に乗ろうかな？



- *『にっぽん列車車両図鑑 時刻表掲載現役列車 400』真島満秀写真事務所 写真
- *『京都駅発着列車 JR 西日本・JR 東海・近鉄・地下鉄』京都新聞出版センター編
- *『図説夜行列車・ブルートレインパーフェクトガイド 決定版』学研
- *『お召し列車 EF5861 とその仲間たち』持田昭俊 著

●鉄道から趣味広がる！

- *『鉄道模型』の教科書 この一冊で、Nゲージレイアウトのコツがすべてわかる！ディディエフ 監修
- *『鉄道きつぷ大図鑑 小さな紙から始まる魅惑の世界』鉄道きつぷ研究会編
- *『鉄道を撮る！旅好き、写真好き、鉄道好きのための鉄道撮影スタートガイド』日本カメラ社

鉄道と文学

エッセイ・紀行・小説…本の中なら、いつでも鉄道の旅を体験できます。

- *『最長片道切符の旅』宮脇俊三 著
- *『新廃線紀行』嵐山光三郎 著
- *『女子と鉄道』酒井順子 著

●名作の舞台を実際に訪ねて、物語の世界を広げてみませんか

- *『塩狩峠』三浦綾子 著（北海道和寒町）
- *『吉里吉里人』井上ひさし 著（岩手県大槌町）
- *『坊っちゃん』夏目漱石著（愛媛県松山市）
- *『汽車旅放浪記』関川夏央 著
- *『名作のある風景』日本経済新聞社 編



鉄道には不思議がいっぱい！

鉄道にまつわるあんな謎、こんな謎。

- *『日本全国「難読駅名」の旅 鉄男・鉄子の鉄分チェック!』鉄道漢字を愛する会 著
- *『京都奈良「駅名」の謎 古都の駅名にはドラマがあった!』谷川彰英 著
- *『鉄道なんでも日本一 車両・路線・駅から「日本初」までを徹底調査!』桜田純 著
- *『鉄道検定 路線、車両、駅、時刻表、切符、駅弁、歴史・7科目からの出題で「鉄道力」を総合判定!』横見浩彦 監修



～人と人をつなげて、 豊かな地域社会を・・・～

「私たち親子が安心して行ける場所が少なくて・・・」
まだ生まれて6ヶ月ぐらいの赤ちゃんを連れてお母さんがそうつぶやきました。そして子育てに不安があるとおっしゃいます。

さっそく図書館利用者で岩倉地域にお住まいのあるベテラン保育士さんに相談したところ、「わかりました!」と力強い一言をいただきました。図書館で「あかちゃんタイム～保護者と赤ちゃんのための時間～」がスタートしたのはその2週間後です。

『あかちゃんタイム』に参加された新人ママさんたちは、ベテラン保育士さんからちょっとした子育てのコツや、赤ちゃんの遊ばせ方なども習い有意義な時間を過ごしました。それともうひとつ、終了後の図書館が新人ママさん同士の交流の場となるといううれしいおまけがありました。



英語圏の国から来日され、時々子連れで岩倉図書館を利用される方がいらっしゃいます。

ある日のこと、その方がカウンターに来られて「図書館にある英語絵本についてお話しがあるのですが・・・」と流暢な日本語でそう話されました。

その英語絵本とは図書館が10数年前に買い揃えたもので、特に見直すことなく少し色あせかけていたものでした。その方はそれらの絵本にもう一度命を吹き込むような素晴らしいアドバイスをくださいました。そして「この春から小学校では英語の授業も始まると聞いています。何か私にお手伝いできることがあればおっしゃってください」というお言葉を頂戴しました。

それから1ヶ月ほどの準備期間を経て「岩倉図書館 英語絵本の読みきかせ」を開始したのです。



このように岩倉図書館は、いつでも地域の皆様と密接につながりながら情報を発信してまいります。

「親子で読書 富安陽子さんの講演会」

4月17日(土)「子ども読書の日」記念事業で児童文学作家、富安陽子さんの講演会&サイン会が、京都アスニーで開催されました。

「こんにちは！」講演会の日、図書館の事務所のドアが開き、満面の笑みを浮かべた富安陽子さんが、元気よく入ってこられました。この気さくで人なつこいお人柄が、そのまま反映された富安さんの作品は、子どもたちに絶大な人気があります。

講演会のテーマは、「妖怪とのつきあい方おしえます」。確かに、富安さんの作品には、この世のものではないものたちが、しばしば登場します。それは、富安さんの育った家庭環境に由るところが大きいと、お話を聞くうちに、だんだん分かってきます。ご本人が言うところの「嘘は自分のためにつくもの、ほらは人を楽しませるために吹くもの」を地でいく大人たちに囲まれ、幼い富安さんは、あまりある想像力を身に付けられたことでしょう。

いとも簡単に、現実の世界と空想の世界(本ならば物語の世界)を、行き来できる子ども時代。空想の世界に旅立った子どもたちは、それは時に、やまんばであったり、二股しっぽのねこであたり、現実の世界では、なかなかお目にかかれぬものと出会い、心を交わす。この“体験”を通して生まれる“不思議さを受け入れる心の空間”こそ、目には見えないが大切なものを信じる力を育むための空間となる。それは、その子どもにとって、厳しい現実を生きるうえでのかけがえのない財産となり、人生の基盤となるのだろう。舞台の袖でお話を伺いながら、子どもたちにそんな体験のできる本を手渡していきたいと、あらためて思いました。

今回の講演会は、私たちの期待通り親子で参加される方が多くおられました。親は、自分が二度と行くことのできない世界への切符を、まだしっかりと握り締めているわが子に、ちょっぴり嫉妬しながら、富安さんのお話を聞いておられたのではないのでしょうか。



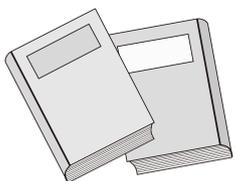
知っていますか?

図書館にはなんと京都市全館で約400種類の雑誌があります。

どんな雑誌を所蔵しているか、カウンターに「京都市図書館 雑誌・新聞目録」を置いています。京都市図書館ホームページ (<http://www.kyotocitylib.jp/>) にも雑誌・新聞目録を掲載しています。蔵書検索からそのまま予約ができます。(インターネット予約パスワードの登録が必要)

なお、目録に雑誌書庫(〇〇年 〇月~)とあるものは、保存庫で保存しています。お近くの図書館にお届けし、館内で閲覧していただけます。(貸出はできません)

最新号は次の号が出るまで借りることはできませんが、予約はできます。他の図書館に所蔵している雑誌も、予約をすると取り寄せることができます。



- ◆ 雑誌にはその時のタイムリーな情報が満載!
- ◆ あとから振り返ると貴重な資料となることも!
- ◆ 綿矢りささんが芥川賞を受けた時のことを知りたい。

→「文芸春秋 2004年3月号」で発表掲載、「同 2004年4月号」に特集記事



◆ 中京区 田中 美加さん (主婦)

夏休み突入と同時に本を抱える子供達のニコニコ顔で溢れる図書館。終わりに近づくと、真っ黒に日焼けして一回りも二回りも大きくなった子供達に逢う。久しぶりの再会は照れ臭そうにモジモジ…。だけど皆キラキラと輝いている。一言しゃべれば止まらない。「〇〇行ってなあ」、「××しててん」

いつもは静かな図書館がひと足早い小さな同窓会場となる。私はこの一時が大好きである。今年の同窓会はどんなお顔が見られるかなあ…。

◆ 伏見区 匿名希望さん (無職)

いつも子供と一緒に図書館を利用しています。今日はどんな本を借りようか。わくわくした気分で図書館に向かいます。最近では子供も私の読んだ本を読む様になり、子供との会話の中に本の内容や感想など、話題も多く、欠かす事のできない物の一つになりました。

もうすぐ夏休みです。人気のある本は借りにくくなります。今まで気付かなかった本に気付く時もあります。夏休みに入る少し前に読みたい本を借り、その後新しいジャンルの本にも挑戦していきたいと思います。

◆ 伏見区 下澤 美姫さん (学生)

私が初めて図書館に行ったのが、小学校2年生の夏休み。母に連れられて本の読み聞かせに行ったのだそうです。

今では、夏休みには宿題のために本を借りに行ったりします。普段はほとんど行かないコーナーで面白そうな本を見つけて読んだこともあります。それ以来、それまで読まなかったジャンルの本も読むようになりました。

そんな、知らなかった本と出会う機会をくれる夏休みを大切にしたいです。

テーマ

夏休みと図書館

夏休みの図書館での思い出、エピソードを教えてください。

◆ 山科区 匿名希望さん (無職)

図書館好きだった私も、いつの間にか、図書館から遠のいていましたが、母親になり、子どもと一緒にまた図書館に通っています。

「ママ、それ、こないだ借りた本に書いてあったでえ」と子どもに教わることもしばしば…。もうすぐ始まる親にとってはながーい夏休み。子どもと共通話題を作るため、お気に入りの本を見つけるため、DVDを借りるため、宿題を仕上げるため…

また図書館にお世話になります。よろしくお祈りします。

◆ 東山区 谷口 和泉さん (学生)

私が制服を着ていたころ、楽しい夏休みには読書感想文と自由研究が立ちはだかっていた!まずは形からと、夏休みにはせっせと図書館に通ってどんな本も読んだ。

図書館には何万という世界との出会いがあって、夏休みは時間もあるし宿題もあるし、クーラーが効いているからなんてやんちゃな理由だって、子供たちがそれらとめぐりあうには、とてもよい条件がそろっていると思う。

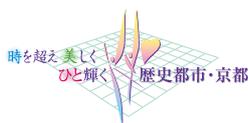
大人になりゆく私たちは、そんな夏休みをどんどん手にできなくなって、宿題だってちょっとうらやましくて、なんだか歯がゆいくらいだ。

京図ものがたり vol.23

発行
平成22年7月

編集・発行

(公財) 京都市生涯学習振興財団・京都市中央図書館
〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町 9-2
TEL 075-802-3133
<http://www.kyotocitylib.jp/>
<http://www.kyotocitylib.jp/i/>



子どもを共に育む
京都市民憲章



社会のあらゆる場で実践し、
行動の輪を広げましょう!

「図書館を旅のおともに」
京都に住んでいる方には特に馴染みの深い「嵐電」「京阪電車」が、今年百周年を迎えられたそうです。最近では「撮り鉄」などの言葉も生まれ、鉄道が静かに熱くブームになっています。鉄道は生活路線としてだけでなく、心地よいスピードに揺られ行楽地へと誘ってくれる、ワクワクする乗り物でもあります。図書館では、そんな旅のお手伝いが出るガイドブックはもちろん、駅弁の特集や鉄道を支える人々にスポットを当てた本、鉄道に関しての歴史や雑学など、DVDを含めた様々な資料を揃え、皆さまの知的探究心にお応えします。

また文学の世界にも、鉄道旅の風景が多く描かれています。自宅にいながら旅を楽しめるのも、読書の醍醐味。さらに、実際に訪れた土地にまつわる小説を読めば、頭の中によりリアルな情景が広がることでしょう。

あなたは、読んでから行く? 行ってから読む?

編集◆後◆記